



Oohiradai Newspaper

大平台だより

神崎町立米沢小学校
2026年6月16日第9号 名上健一

— ほんき やるき げんき のある米沢っ子 —

家庭教育学級開催 ~親子味噌玉づくり体験~



発酵についての講話



全国発酵食品サミットの説明



親子味噌玉づくり



親子味噌玉づくり

6月10日(水)、1・2年生の家庭教育学級で「味噌玉作り」をしました。「神崎町 発酵アンバサダー お里」さんこと 日暮 聡美氏を講師に、町のまちづくり課から4名の皆様をお迎えし、親子で楽しく味噌玉づくりに挑戦しました。

神崎町は、江戸時代から醸造業が盛んで、豊かな食文化を受け継ぐ「発酵の里」で有名な町です。**2027年3月13~14日に行われる『全国発酵食品サミット in 神崎』**の紹介も含めて、神崎町の発酵文化の継承についてのお話がありました。

子どもたちは地元の発酵の歴史に触れながら、講師の先生に教わった通りに、保護者の方と協力して味噌と具材を丁寧に丸めていきました。お椀にポンと入れるだけで美味しいお味噌汁ができる特製の味噌玉ができあがりしました。完成した瞬間、子どもたちは「自分で上手に作れた!」「早くお家で飲んでみたい!」と、満面の笑みで大満足の表情を見せていました。

手作りの達成感と発酵文化の大切さを親子で学ぶ、素晴らしい時間となりました。ご多用の中、温かくご指導いただいた日暮 聡美氏、そして運営を支えてくださったまちづくり課の皆様にご心より感謝申し上げます。

高学年としてのコミュニケーションを学ぶ

～5・6年生 スクールカウンセラー授業～



6月2日（火）、5・6年生を対象に、スクールカウンセラーによる「話し方・聞き方」の授業を、話し合いを中心に実施しました。

はじめに行った「じゃんけん質問ゲーム」では、勝った人が負けた人に質問をしました。「相手の嫌がることはしない・聞かない」という配慮を持ち、高学年らしい節度あるやり取りが見られました。続く「聖徳太子ゲーム」では、3人が同時に発した一文字を集中して聞き取り、相手の言葉に耳を傾ける大切さを体感しました。

最後に、友達を誘う場合の注意点について考えました。一番大切なのは「相手を思いやること」です。そのためのポイントとして、「相手との距離感を考える」「顔を見る」「聞こえる声で」「笑顔で」といった具体的な姿勢を学びました。今回の学びを活かし、5・6年生が手本となって、学校全体に温かい言葉の輪を広げてくれることを期待しています。

リサイクル活動 ご協力ありがとうございました



6月6日（土）、米沢小学区再資源化物回収を行いました。お休みの日にも拘わらず、早朝から各地区のリサイクル物品がたくさん運び込まれました。当日は、米沢小学校PTAを中心に、地域の方々や米沢小学校職員、神崎中学校職員などたくさんの皆様にご協力いただきました。その結果、収益金は**100,210円**となりました。子どもたちの教育活動のために大切に使用させていただきます。御協力ありがとうございました。